

3.3 電源を入れてみよう

① 電源をいれよう

AC アダプタ (5V) をコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。このとき、付属の AC アダプタ以外のものは使用しないでください。



図 3.3.1 電源 ON

② OS のインストール

Rubyy の電源が入ると、図 3.2.2 のような画面が現れます。

OS を選択する画面なので、Raspbian を選択し、インストールのアイコンをクリックします。画面の下のほうで言語を選ぶことができますが、ここでは英語を選んだままで進みます。ここで日本語とすると、文字化けしてしまいます。



図 3.3.2 起動時の画面

インストールアイコンを押下すると、SD カードのデータが消えますがいいですか？という旨の警告が出ます。[OK] をクリックし、インストールを開始します。



図 3.3.3 警告メッセージ



図 3.3.4 インストール中の画面



図 3.3.5 インストール完了

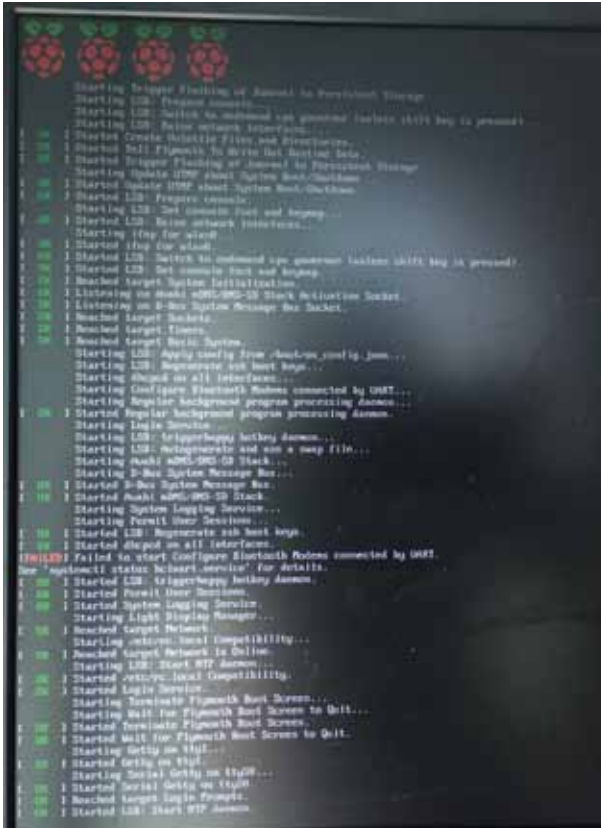


図 3.3.6 起動画面

RaspberryPi3 では、起動すると自動でグラフィック画面となります。以下の操作は不要です。

RaspberryPi2 以前の場合は、下記の操作を行います。

ログインのために、ユーザー名とパスワードをキーボードから入力します。

下図のように、太字部分のユーザー名を入力し、[Enter] を押下します。

コマンドリスト 3.3.1

```
Raspberrypi login: pi
```



続いて、パスワードを入力します。

コマンドリスト 3.3.2

```
Password: raspberry
```

ワンポイント

パスワードの入力中、入力した文字は表示されません。どこまで入力したか、頭の中で確認しながら慎重に入力しましょう。もしエラー表示されたら、もう一度入力をやり直してください。

何度まちがえても再挑戦できるので、落ち着いてゆっくり入力しましょう。

3.4 デスクトップを表示しよう

ログインできたら、今度はグラフィック画面を表示してみましょ。さきほどの黒い画面は、文字だけで操作を行うモード（コンソール画面）でした。

デスクトップとは、マウスを使って、見栄えのいいアイコンやメニューによって操作を行える画面です。次のように打ち込みます。

コマンドリスト 3.4.1

```
pi@raspberrypi ~ $startx
```

しばらくして、以下のような画面が表示されれば成功です。

パソコンなどをお使いの方には馴染みのあるインターフェースですね。



図 3.4.1 デスクトップ表示

